

## 平成 27 年度 事業報告書

当財団は、平成20年12月に施行された公益法人関連三法に基づいて、平成26年4月1日、一般財団法人に移行しました。

一般財団法人へ移行後、2年目となる平成27年度は、前年度に引続き公益目的支出計画に基づく「実施事業」と「その他事業」を区分して、これまでの伝統と実績を踏まえつつ、定款に規定された目的に沿って、絹に関する知識の普及・伝承、絹製品の需要の促進、国際貿易及び観光の振興等の事業を展開しました。

平成27年度における各事業の実施状況は、次のとおりです。

### I 実施事業

公益目的支出計画の実施のため、公益事業として次の事業を行いました。

#### 1 博物館事業（継続事業）

魅力ある博物館づくりをめざし、常設展示をはじめ特別展示等の充実を図り、学校教育活動における総合的な学習への協力等を行い、絹知識の普及と需要の促進に寄与するよう努めました。

##### （1）普及事業

###### ア 常設展示事業

絹知識の普及と需要の促進を図ることを目的に、常設展示では、学校教育活動の場や生涯学習の場として活用できるわかりやすい展示、また絹による服飾工芸品の鑑賞の場として、魅力ある展示を行うとともに、テーマごとの展示や講習会等の充実に努めました。

###### （ア）リレー展示「絹とアンティークストッキング TOKITA COLLECTION」

〔会 期〕 第3回 平成27年4月1日（水）～5月31日（日）

第4回 平成27年6月3日（水）～7月31日（金）

第5回 平成27年8月2日（日）～9月30日（水）

第6回 平成27年12月1日（火）～平成28年1月31日（日）

アンティークストッキング収集研究家の鴫田 章氏が長年、収集したコレクションの中からテーマ別にリレー形式で6回開催し、展示、解説等を行いました。平成26年12月より始め、第2回までは前年度に終了しており、本年度は第3回から第6回まで4回開催しました。

###### （イ）ミニ展示「つまみかんざし」

〔会 期〕 平成28年3月5日（日）～3月21日（月・祝）

江戸時代に日本人の美意識から生まれ、四季折々の題材を薄い羽二重を使って作りあげた「つまみかんどし」を展示しました。

(ウ) 実演会・講習会の開催

「まゆ人形作り、簡単くみひも作り、まわた人形作り（子供向け）」「くみひも講習会」「手作り真綿の講習会」「真綿からの太糸作り実演と講習会」「真綿の太糸指編み実演」「手紬糸作り実演と講習会」「つまみかんどし講習会」等を開催し、これらの実演や体験を通して、繭、生糸、真綿、絹への理解を深め絹需要の促進に努めました。

イ 特別展示事業

(ア) 秋の特別展 「今に生きる 江戸小紋」

～小宮家四代の作品を中心に～

[会 期] 平成27年10月10日(土)～11月8日(日)

江戸小紋の重要無形文化財保持者（人間国宝）小宮康孝氏（二代目）とご子息の小宮康正氏（三代目）の作品の展示を中心に、東京国立博物館、東京国立近代美術館、小宮染色工場の協力のもと、型彫実演なども加え、江戸小紋の極小の世界と染色文化の素晴らしさを紹介しました。

(イ) 夏の企画 「親と子のかいこの自然科学教室」

[会 期] 平成27年8月1日(土)～8月30日(日)

夏休みに、神奈川県内及び近隣地域の小学生等を対象に、蚕の生態観察や、糸繰り、繭人形作り体験等を通して、蚕のふしぎ、絹の特性等を学ぶ教室を開催し、理科教育等への支援にも努めました。

(ウ) 冬の企画「シルキーウインターフェスティバル」

[会 期] 平成27年12月1日(火)～平成28年1月11日(月・祝)

小学生や幼稚園児などが作成した観察記録や繭人形等を展示する「たのしいかいこの発表会」、クリスマスイベントとしての「シルキークリスマス」等を開催し、子どもたちを中心に幅広い世代の方々のシルクへの理解促進に努めました。併せて、シルクに関わる産業の振興にもつながるよう努めました。

ウ 学習支援事業

(ア) 蚕種配布事業

神奈川県内及び近隣地域の小学校、幼稚園など約600ヶ所に蚕の卵(蚕種)を配布するとともに、飼育方法や観察の仕方、糸の繰り方等の講習会を開催しました。これと併せて小学校からの問い合わせや見学等にも

対応し、理科教育等への支援を図りました。

蚕種配布及び講習会：平成27年5月14日(木)・15日(金)・16日(土)

(イ) 博物館実習生の受入れ

本年度も、大学で学芸員資格を取得するため、博物館学を履修している学生の博物館実習を受け入れました。

エ 開館60周年に向けた取組み

開館60周年となる平成31(2019)年度を目途に博物館所蔵品目録を更新するため、所蔵品、図書類の整理・データベース化等を進めました。

(2) 広報事業

小・中学校をはじめ、服飾関係学校、ホテル、旅行会社や新聞、雑誌、報道機関等への広報、ポスター掲示などのPR活動を行うとともに、インターネット等を積極的に利用して来館者の増加を図り、絹知識の普及と需要増進に寄与するよう努めました。

2 シルク等普及推進事業(継続事業)

神奈川県在地場産業であるシルク産業の振興を支援するため、宣伝、普及、販売促進に取り組むとともに、地域社会活性化に寄与するため、地域住民の公益的活動等の支援に努めました。

(1) シルク等普及活動事業

ア 特別展等企画連絡調整

シルク博物館で隔年開催する特別展「全国染織作品展」等の企画・検討を行いました。

イ かながわシルクフェア

神奈川県伝統産業であるシルク製品の普及・啓発及び販路拡大等を図るとともに、シルク製品に関わりのある団体及び神奈川県と共同で「かながわシルクフェア」を開催しました。

ウ シルキーウインターフェスティバルの開催(再掲)

特に若い世代を含めた多くの方々にシルクセンターに来館いただき、シルクの魅力等について広く理解していただくため、平成27年12月1日から平成28年1月11日まで、シルク博物館と連携して、シルクセンター国際貿易観光会館の施設全体で開催しました。

## (2) 施設を活用しての普及活動支援事業

### ア シルクミュージアムショップの運営支援

横浜のシルク産業を支援する取組みとして、販売・宣伝を行うためミュージアムショップスペースを横浜繊維振興会（Y T A）に引続き貸与しました。

### イ ギャラリースペース等による支援

神奈川県民・市民の文化芸術活動の振興、地域社会への横浜のシルク産業の振興等を図る活動を支援するため「ギャラリースペース」「催事場」の貸与を行いました。

## II その他事業

公益目的支出計画の安定的な実施のため、収益事業として次の事業を行いました。

### 1 部室賃貸事業

平成27年度末現在で90.2%の入居率となっています。耐震補強工事等の実施により、建物設備の安全の確保や長期寿命化を図るとともに、良好な執務環境の整備に努めました。建物の環境衛生については、ビル衛生管理法に基づき定期的に測定を行うとともに、諸設備の点検には充分留意し、保全管理に努めました。

### 2 附帯事業

入館者等の利便に供するため、立体機械式車庫並びに平面駐車場の適切な管理運営に努めるとともに、正面玄関前平面駐車場はタイムズ24株式会社に運営委託しました。